

## 校報かめのご

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

- |   |       |
|---|-------|
| か | 考える子  |
| め | めげない子 |
| の | 伸びる子  |
| ご | 心豊かな子 |



## 「やばい」に込められた気持ち

福生市立福生第六小学校

校長 富永 大優

子どもたちと話していると、「やばい」「まじ」「えぐ」などの言葉をよく耳にします。相手の話を聞いて返す言葉が、この3つの言葉で終わっていることもありました。

以前、NHKのクローズアップ現代で、「やばい」に込められた気持ちとして「怒り」「喜び」「悲しみ」「くつろぎ」などがあると紹介されていました。確かにそのような意味をこめて使っているのだろうと思います。辞書を引いてみると3番目の意味として「若者言葉で、すごい。自身の心情が、ひどく揺さぶられている様子についていう。」とありました。若者には、「格好良い」から「困った」まで広く使われているのでしょう。

ですが、自分の気持ちを適切に表現している言葉かという疑問が残ります。例えば、「やばい」という言葉を「怒り」の意味で使ったとしても、どの程度か、どのような怒りなのかを適切には表し切れていません。激昂しているのか、嫌悪感をいっているのか、いらいらしているのかなど、「怒り」だけでも気持ちは様々だからです。ましてや「喜び」「悲しみ」「くつろぎ」の意味もあるとなったら、「やばい」だけでは気持ちを表現しきれませんし、相手にも自分の気持ちは伝わりません。その結果、気持ちのすれ違い、思い違いによるトラブルが増えているように思います。

前述の番組の中で、人との関わりで苦労している青年が、「うわべだけの会話をしてました。喜怒哀楽、考えたことない。丸まる全部『やばい』としか言葉を出していない」と言っていたのが印象的でした。ですが、逆に言うと、気持ちを上手に表現できれば、人間関係がうまくいくということです。子どもたちが「みんなともできる」ようになるために、私たちは、これからも学校生活を通して気持ちを表す言葉を増やしていきたいと思います。ぜひ、御家庭でも気持ちを表現させる機会をもっていただければと思います。